

らんまのままで

援交淫紋編

片耳豚  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



らんまといんもんとえんじー



らんまがおっさんと闘って  
その後もおっさんと闘う  
大体そんなカンジ。

ある日のこと——  
中国の秘拳使いと  
路上での腕試しを行う乱馬

からくも勝利するが  
相手の奥義「淫紋孔」  
を受けてしまう

男の精を枯らし尽くす魔技だが  
女の体で受けたため  
強力な発情状態に陥ることとなる

発情は——まともな思考を  
濁らすほどに強力で

その状態で男に戻れば  
不能になるという  
悪辣なもの——

発情を解除するためには  
女の絶頂を他者の手で  
極めさせられなければ  
ならなかった——



夜の街でふらついていたらところで  
声をかけられる乱馬——

言葉巧みに言いくるめられ  
ホテル街へと誘われる——

不躰ながら繊細な指使いで  
火照った体を弄られれ  
徐々に拒否感を奪われる乱馬

モクヤ  
モクヤ  
こういったことに慣れ切った  
熟練の気配に頭の片隅で  
警告音が鳴るが——

このままでは男に戻れないという  
危機感で気付かないフリをする

部屋に連れ込まれや否や  
探るような愛撫にさらされる  
も弱腰な乱馬——

緩急をつけた手慣れた愛撫に  
徐々に嫌悪感を剥がされる

気が付けば——

すっかり援交おじさんの  
ペースでベッドに誘導され  
無防備に肌をさらす体たらく

むに♡

不意打ちのようにアナルを責めしやぶる援交おじさん

一瞬で冷静な判断力をなめとられる発情乱馬

熟練の舌さばきに発情中の乱馬が耐えきれぬわけもなく

的確に弱点を探られていることにも気付かず本日一度目の雌鳴きを決めさせられる――



本番は無しという要求にも  
男は二言返事です承——

そんな乱馬が油断したところで  
男の責めが始まる——

「僕は後ろの穴専門なんだ♡」  
そう言った男の執拗な愛撫が  
発情状態に乱馬に襲い掛かる

それは経験不足の小娘を  
尻穴で惑乱させるには充分で  
圧倒的過ぎるものだった——

んほお  
おほお

発情状態では耐えきれぬわけもなく  
男の尻穴調教にあっさりと  
陥落する弱尻乱馬——

男の長大なペニスを  
いとも容易く受け入れ  
アナルを鳴かされる

「らんまちちゃんアナル弱すぎでしょ♡」  
そんな挑発に口答えする余裕もなく  
嬌声を上げて許しを請うも  
一晩中のアナル責めは止まらず——

完全に尻穴快楽を  
叩き込まれたところで  
その日はお開きとなった



後日——

淫紋孔の効果が切れるまで  
耐えきれず——ついには  
連絡先を聞いていた男の

呼び出しに応じてしまう  
発情乱馬——

男の家に連れ込まれ  
卑猥な衣装を着させられる

この時点で——  
男の要求に逆らえないことに  
無自覚な乱馬である

衣装と愛撫で体の疼きを煽られながら  
ついには男のペニス奉仕要求を  
受け入れてしまう性感クソザコ乱馬

むせ返るような性臭に  
知らぬ間——喉を鳴らす

せめてもの反抗として  
睨みつけるその視線も  
男を興奮させる  
起爆剤にしかならない

散々しゃぶらせた後の  
蹂躞射精により  
征服欲を大いに満足させる  
援交おじさん——

乱馬の口内にたっぷり射精  
してもなお一物は  
硬くなる一方である——



調子に乗ったおじさんの  
アナル調教で先日以上に  
敏感に躰けられる乱馬

決して深イキしないように  
じっくりと快感を  
煮詰めていく熟練おじさん

今後も関係を続けられるよう  
凌辱説得を繰り広げる――

無論――  
始めは抵抗していた乱馬も  
一晩に渡る焦らし責めに  
ついには屈服――

尻穴援交を今後も続けるよう  
常時甘イキなアナルで  
説得されてしまう――

屈服アナルをおじさんチンポで  
たっぷりと耕され——  
本格的に援交アナルとして  
仕上げられる乱馬

解禁された絶頂に  
雌鳴きを極めさせられる——

たくましい雄のチンポに  
躡けられ——  
もはや抵抗のカケラもない  
アナル負け——

翌日の学校もサボらされ  
徹底的に尻穴で  
逆らえなくなる——



一度受け入れてしまえば  
あとは援交おじさんの  
成すが儘——

交尾臭の充満した部屋で  
絶倫おじさんのデカマラに  
説得済みアナルを差し出す  
ことしかできない  
堕ち穴乱馬——

嗜虐的な笑みをうかべたまま  
モノにした極上の雌穴を  
思う存分味わい尽くす  
勝ち組おじさん

一突きごとにアナルを  
手懐けられていくが  
打つ手のない乱馬には  
成すすべがない

執拗に中射しを決められ  
一発ごとにケツアナが  
堕ちていくのを自覚しながらも

格付け済みの雄チンポには  
逆らえないという  
貞淑アナル妻な乱馬——

分からせ交尾での雌イキ凌辱は  
夜が明けるまで続けられた——



最後はビデオ撮影まで受け入れ  
おじさんのいい様にされる  
弱穴雌ネコ乱馬——

援交負けしたむっちり肢体を  
惜しげもなく晒して  
チン堕ちインタビューで  
アナル奴隷宣言——

この関係は淫紋の効力が  
切れてもしばらくの間は  
続くことになるのだが——  
それはまた別のお話——


●REC

おまけ  
らんまの夏休み

海水浴に来た「らんま」。  
見本のようなチャラ男に声を掛けられる。

下心丸出しの誘いだが  
おごりの誘惑に負け  
いざとなったら暴力の精神で  
ホイホイついていく。





油断しきりの「らんま」であったが、  
そこはやはり歴戦のチャラ男。  
言葉巧みに言いくるめ  
しとどに酔わされる。

軽い薬物まで使われて  
朦朧とし始めたところを  
卑猥なボディタッチで追い詰められる。

敏感になったエロボディを  
容赦なくまさぐられ  
情けない雌声を上げさせられる  
グロッキー「らんま」。

そのあとは、もう  
チャラ男達の思い通り。

抵抗らしい抵抗も出来ないまま、  
記念撮影——そのままベッドルームへ。





汗臭いベッドルームに連れ込まれ、  
代わる代わるの濃厚セックスで

日付の変わるころには、  
しつかりと陥落させられた  
雌鳴き「らんま」。

丸々三日をかけて、  
歴戦の腰使いでイキ狂わされ  
連絡先もゲットされる。

その後、記念撮影の写真をネタに  
ひと夏のセフレ契約を  
強制されることになるのだが、  
それはまた別のお話である。

奥付  
発行/片耳豚  
発行日/2022.12.31  
印刷/トム出版

らんまのままで

援交淫紋編

